

むらおこし事業 特産品と観光開発目指して

＝小須戸町商工会＝



第1回むらおこし実行委員会風景
7月29日 於小須戸町商工会

商工会では、昭和六十三年度において、通商産業省の特別補助事業として、地域商工業の振興のため、「村おこし事業」を実施することになりました。

この事業は、町の物産の販路拡大を図ると共に、新たな観光資源の開発が、大きな目的となっており、この事業をより効果的に推進するため、実行委員会（委員十二名）を設置し、実行班として実行小委員会（特産品開発、観光開発、広報調査）を組織して、実務者レベルの実行小委員会で、事業を実施してゆく予定です。

そのため、第一回の実行委員会では、この事業の概要が決定いたしました。小委員会の構成も、各団体、各層から人選され、広範囲の意見を集約して、本町にふさわしい「村おこし事業」にしてまいりたいと思っております。

むらおこし事業の概要は次のとおりです。

むらおこし実行委員会名簿

区分	氏名	職名
学識経験者	渡辺安喜雄	歯科医院開業
"	新井田秋蔵	議会常任委員長
県又は町関係者	中島信明	県商工労働部次長
"	榎田奈賀雄	小須戸町長
工商業者代表	皆川革治	マルタ醤油㈱
"	岡 栄松	小須戸町菓子組合長
"	中野園太郎	商工会長
実行委員長	関本重平	商工会総務委員長
実行委員長代理	五十田清一	小須戸町農協組合長
団体代表	内宮貞雄	小須戸町園芸組合長
"	五十嵐正吉	嘱託員
住民代表	五十嵐正吉	嘱託員
県連職員	渡辺龍太郎	連合会専務理事

〔観光資源開発〕
本町の観光イベントは、小須戸まつりを中心に、園芸まつりなど期間指定の観光が主体となっており、通年的な観光施設がありません。そのためむらおこし事業を通じ金津地区に開設される、「石油の資料館」への流

〔特産品の開発〕
本町工場製品の中には、歴史と味わいのある物産が多くあり、その中から意匠、デザイン、包装、あるいは味の工夫を行い、現代に合った特産品を作り出し、本町の特産品に指定する予定です。

〔観光資源開発〕
特に本町は「ホケ」の産地として知られており、「花」「実」を工夫して新製品を作ることも可能であり、これからの研究成果に期待がかけられています。

〔観光資源開発〕
又開発した特産品、観光ルートは、パンフレットを作り、県内外へPRすると共に、特産品の販売のため、当町出身の県外在住者を対象にして、会員制による頒布会を組織し、首都圏とふる里を結ぶ絆を作り、ふる里PRしてまいりたいと思っております。

小須戸公民館報

発行所 須戸町公民館
小中央常信
小成田日
発行人 毎月15日
発行日 毎
印刷所 (株)昭栄堂印刷所

ちよこつと一言 (5)

最近、小須戸もんという言葉に何か愛着を感じます。若い頃は、この町を出て、他の所へ行ったくて悩む時期も多くありましたが、この町で生まれ育ち、学び、働き、嫁ぎ、家庭を持ち、色々な人との出会いがあり、多くの人達から指導をうけ、教えられながら、ふつと振り返ると、四十三年という年月が過ぎました。この地で喜怒哀楽を感じ、この地あれば今日の自分が存在するんだという気持ちに、この地に、頑張っただけで良かったんだなあと思えてきました。世の移り変わりに応じて、少しずつ変わってまいりたい。さらに住みよい町作りをめざして小須戸もんとして頑張りたいと思っております。



新栄町四
丸山厚子
さん

と、四十三年という年月が過ぎました。この地で喜怒哀楽を感じ、この地あれば今日の自分が存在するんだという気持ちに、この地に、頑張っただけで良かったんだなあと思えてきました。世の移り変わりに応じて、少しずつ変わってまいりたい。さらに住みよい町作りをめざして小須戸もんとして頑張りたいと思っております。

新潟大学放送公開講座

受講者を募集します
が、私達にまた語りの文化の伝統を思い起こさせてくれるでしょう。

七月二十七日(水)梅雨あけのすばらしい快晴である。う。木立ちに囲まれ、音を立てる事すらも阻むような静けさの中、今日中央公民館の「俳句教室」の吟行会(作句のための旅行及び句会)に参加した。行先は野積の海岸と良寛修行の地、国上寺・五合庵である。

ふんやと散歩 (16)

西洋梨栽培にこの人あり 高山 豊さん
西洋梨(以下西洋梨)は、明治三十一年白根市茨宮根の小池さんという人が民間人で始めて日本に輸入したとされている。現在約二千種、ヨーロッパ原産である。白根市農協に勤務していた高山豊さん(新保三・三十七才)は、二年前に農協を辞め、栽培がむずかしい西洋梨作りに挑戦している。

俳句教室吟行会作品

- 63・7・27
- 大佐渡も手の届く程夏の海
 - 山蟻の遊び来たるや五合庵
 - 梅雨長し海閑散と佐渡が島
 - 空蟬のすがりてをりぬ良寛碑
 - 五合庵も太古の蟬を聞く
 - 波静か思考一句と砂を踏み
 - 水子地蔵親の供養の風ぐるま
 - 海を見て杖つき登る良寛堂
 - 土用波岩にまきつく日本海
 - 青葉陰九十九降りて佐渡迫る
 - 蟬鳴けり五合庵ひそとただ静か
 - 佐渡見ゆる野積の浜や土用浪
 - 空蟬や良寛の碑の竹矢来
 - 二十二番札所盛夏の国上寺
 - 緑蔭の良寛庵を訪ねけり
- 来作もまたこの地へ来よ。
長井武雄
村山又雄
間野エリ
山崎シズイ
九山栄子
野俣玲子
徳苺 優
村木リツ
松沢キヨ
牧野信雄
荒木愛子
五十嵐 務
我妻清作
藤井 春
駒村幸世
吉田美樹子

西洋梨栽培にこの人あり

西洋梨(以下西洋梨)は、明治三十一年白根市茨宮根の小池さんという人が民間人で始めて日本に輸入したとされている。現在約二千種、ヨーロッパ原産である。白根市農協に勤務していた高山豊さん(新保三・三十七才)は、二年前に農協を辞め、栽培がむずかしい西洋梨作りに挑戦している。

募集します 自衛官

▶受付期間…年間を通じて行っています。
▶受験資格…18歳以上25歳未満の方
▶試験日…受付時に指定します(64年3月高卒予定者は9月16日以降)
▶問い合わせ…町役場町民生活課

